

スタークッション ステイビル 取扱説明書



目次

1. 概要	1
2. 安全にお使いいただくために	2
3. 製品仕様	3
4. パーツ名称	3
5. 使用方法	4
6. カバーの使用と取り付け	6
7. 洗浄と消毒	7
8. トラブルシューティング	8

1. 概要

この度は「スタークッション ステイブル」をお買い求め頂き、誠にありがとうございます
本製品のご使用前には必ず「取扱説明書」をよくお読み頂き、正しく安全に使用してください。
また、「取扱説明書」は必要なときに取り出しやすい場所に保管してください。
使用環境や使用者の身体状況が変化した際には再度お読みください。

●はじめに

「スタークッション ステイブル」は、空気調整式の車いす用シートクッションです。最大重量に関する制限はありませんが、使用者や車いすに合わせたサイズを選択してください。
本製品は専門的な知識を持った方の指導のもと、使用者や車いすの座面シートの素材や形状に合わせて適切に調整を行ってください。

本製品は、ダイナミックエアフローテクノロジーを利用しており、使用者の座位における臀部形状に合わせて変形し、優れた圧分散効果を提供するシートクッションです。

2. 安全にお使いいただくために

●ご使用前に

「スタークッション ステイブル」を安全にお使いいただく為に、下記項目について定期的にご確認ください。

- ご使用前に、必ず空気量を確認してください。
- 本体やカバーにパンクやキズ、ほつれなどが無いことを確認してください。
- 使用中に不具合が生じた場合には、使用を中止し販売店または弊社までご連絡ください。



警告

この表示項目を守らずに誤った取扱をすると重大な事故につながり、使用者が重傷を負う恐れがあります。



注意

この表示項目を守らずに誤った取扱をすると使用者が傷害を負ったり、物的損害をこうむる恐れがあります。

 注意

- 少なくとも1日1回は空気量の確認を行ってください。
- 定期的に皮膚の確認を行ってください。皮膚や皮下組織の損傷は、個々の状態に合わせて様々な理由で発生します。赤み、あざなどは皮膚の損傷の始まりです。その場合にはすぐに専門的な知識を持った方へご相談ください。
- クッションとカバーは、適切なサイズの製品を選択してください。取扱説明書に記載のない使用方法や選定が行われた場合には、製品の機能が失われる可能性があり、皮膚や皮下組織の損傷のリスクを高めます。また安定性の低下、姿勢の崩れ、転落する危険性がございます。
- クッション及びカバーは、上下・左右の向きを確認して使用してください。
- 「スタークッション ステイビル」は、内部構造により使用する向きが決まっています。クッション及びカバーの前後方向を確認して使用してください。（クッションとカバーの両方に記載しております）クッションが正しく置かれていない場合には、製品の機能が失われる可能性があり、皮膚や皮下組織の損傷のリスクが高まります。
- 空気量は適切に設定をして使用してください。
空気量が不足している場合：
誤った空気量での使用は、身体のサポートの欠落を引き起こす可能性があります。
空気量が不足し使用者が底付きをしている状態が続くと、床ずれの危険性が高まります。
空気量が多すぎる場合：
クッションに身体が沈み込まず、十分な圧分散効果を得られなくなる可能性があります。
床ずれの危険性や不安定な姿勢となる可能性が高まります。
- 0℃以下の環境にクッションがあり、硬さが感じられる際には、バルブを開けた状態で、室温利用し本体が柔らかくなるまで手で揉んだり、一度丸めて広げてください。
火気に近づけないでください。
- 高所、飛行機など気圧の変化がある場合には、空気量を都度調整する必要があります。
利用時には、毎回空気量をご確認ください。
- 破裂を防ぐために鋭利な物を近づけないでください。
- バルブ部分を持って製品を持ち上げたり引いたりしないでください。
持ち運びの際は、カバーについているハンドルを使用するか、クッション本体を持ってください。
- クッションと使用者の間に物を挟まないようにしてください。製品の機能が失われる可能性があり、床ずれの危険性が高くなります。
- 使用時にクッションの下に物を置かないでください。使用者が不安定になったり、転落する危険性があります。

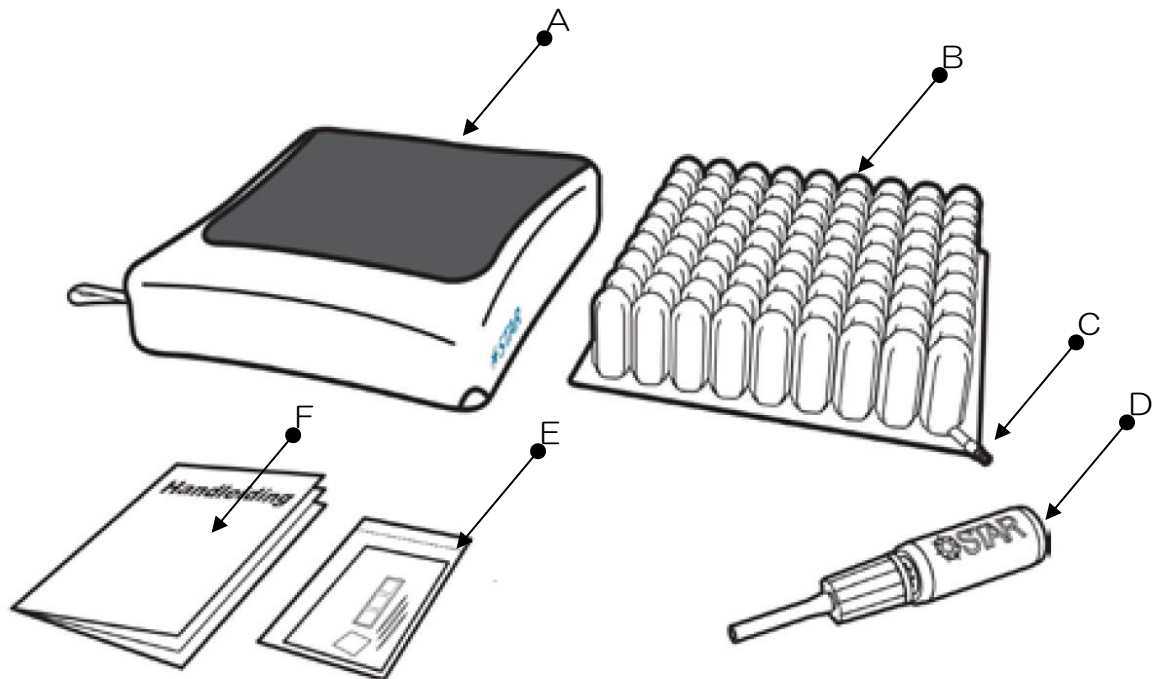
3. 製品仕様

商品名	サイズ (cm)	重量 (kg)	適応する車いす座幅
スタークッション ステイビル	39×39×7.5		座幅：40cm
スタークッション ステイビル	44×39×7.5		座幅：45cm

※計測方法により誤差が生じる場合がございます。

4. パーツ名称

- A- カバー
- B- クッション本体
- C- バルブ：エアーをクッションに入れるサポートをします。
- D- ポンプ：dual action パンプによりエアーバルブを通しエアーセルを膨らませます。
- E- 修理キット/内容物：パッチ3枚、サンドペーパー、楊枝3本
- F- 取扱説明書

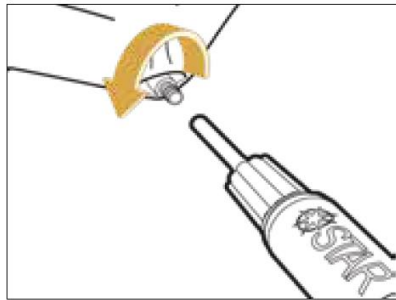


5. 使用方法

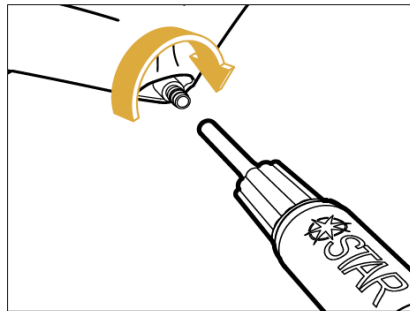
使用方法について本書をお読みいただき、正しく調整してください。

【クッションへ空気を入れる】

- 1、 クッションのセルが上に向いている状態をご利用ください。
- 2、 バルブを反時計まわりの方向へまわしてください。バルブをまわしている途中で空気を入れないでください。



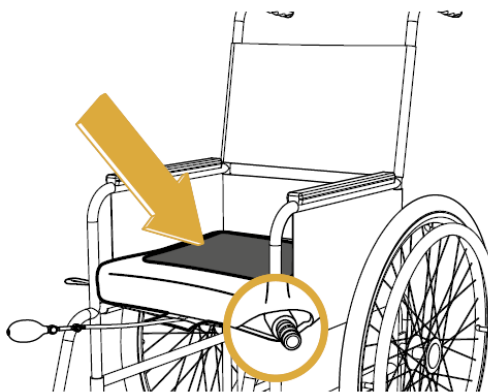
- 3、 ポンプの先端にあるゴム製のホースをバルブに取り付けてください。ホースがしっかりとバルブについていることを確認してください。
- 4、 ポンプを前後にスライドさせて、クッションに空気を入れてください。
(クッションの中心部から膨れます。)
- 5、 ポンプをバルブから外し、素早くバルブを時計まわりの方向へ閉めます。



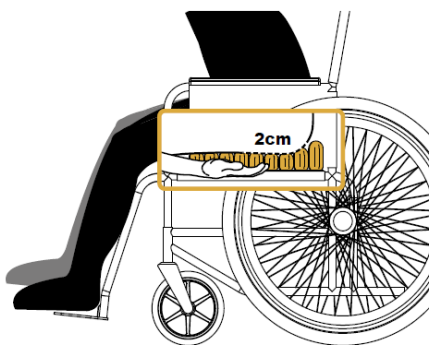
- 6、 バルブを完全に閉めて、空気が出ないようにしてください。

【空気量を調整する】

- 7、 バルブが前になるように車いすの座面にクッションを置いてください。
バルブが1つの場合、前方左側にバルブがくるように置いてください。クッションの上下、前後の向きを確認してください。
クッション内部の形状が身体に沿うようになっていますので、クッションの向きを変えないで下さい。
- 8、 適切な位置に座ってください。



- 9、 クッションと臀部の骨突出の間に手を入れてください。
- 10、 バルブをゆっくり開けて、空気を抜いてください。指を使い、クッションの底と骨突出部の距離を確認してください。



- 11、 クッションの底と指の間が約2cmになるまで空気を抜いてください。（上記図参照）
約2cm になりましたら、バルブを時計回りにまわし、バルブを閉めてください。

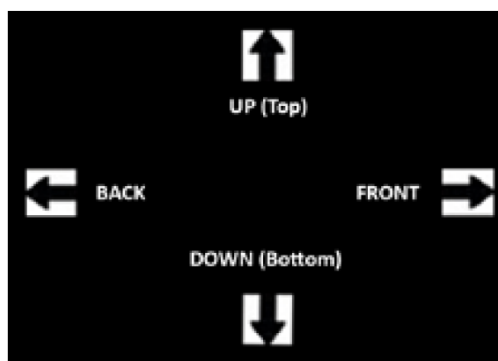
6. カバーの使用と取り付け

クッションは、カバーを使用することで本体のセルが横に広がることを防ぎ、移乗ボードを使用する際の安定性をサポートします。カバー裏面には、滑り止め素材を使用しております。

【カバーをかける】

- 1、 カバーの上下、前後の向きを確認してください。
- 2、 マジックテープのあるフラップ部分を開けて、クッションをカバーへ差し込みます。
(バルブが左前方になります。)
- 3、 フラップを閉じてマジックテープで固定し、クッションが上向きになるように向きを変えます。
- 4、 空気調整のためのバルブが、カバーから出ていることを確認してください。
- 5、 カバーをつけたクッションを車いすの座面に置いてください。

バルブがカバーから出ている状態で滑り止め素材が下にくるようにしてください。クッションについているラベル表記に従い、上下、前後の向きを確認してクッションを置いてください。



【カバーを外す】

マジックテープのあるフラップを開きクッションを取り外してください。カバーの確認や洗浄、メンテナンスを行う前に、フラップを閉じてください。

7. 洗浄と消毒

【カバー】

- 洗浄を行う前に、カバーのフラップ部分を閉じてください。
- クッションからカバーを取り外してください。
- 温水（最高 60°C / 140° F）で洗浄が可能です。
- 洗濯機の使用が可能です。
- 漂白剤、柔軟剤は使用できません。
- 乾燥機（低温）の使用が可能です。
- 洗濯機や乾燥機によるダメージについて、製造元は一切の責任を負いかねます。

【クッション本体】

- クッション本体とカバーは別々に洗浄してください。
- 洗浄及び消毒を行うことをお勧めいたしません。
- クッションを洗浄する際は、バルブを閉めてください。
- 柔らかい布やスポンジ、または柔らかいブラシなどで、中性洗剤（食器洗剤や衣服用洗剤）を使用し、ぬるま湯で洗浄してください。
- 必要に応じ製品のラベル表記をご確認ください。
- セルの間や隙間のゴミや汚れを取り除いてください。
- 洗剤は水で洗い流してください。
- 直射日光を避けて乾燥してください。水気が残る場合には、タオルやスポンジでふき取ってください。
- 洗濯機、乾燥機は使用できません。
- 37°C以上での洗浄は決して行わないでください。
- 消毒が必要な場合には、家庭用の塩素系漂白剤を10%に希釈し、使用してください。使用後は、漂白剤を洗い流してから乾燥してください。希釈していない漂白剤は使用しないでください。
- 消毒液は製造元の取扱方法に従いご使用ください。

注意

- クッション本体は、洗濯機は使用できません。
- スチールウールやたわしなどで研磨しないでください。
- 石油や有機溶剤は使用できません
- クッション本体に水が入らないようにしてください。
(バルブがしっかり閉まっていることを確認)
- 直射日光やオゾンガスにさらさないでください。
- オイルローション、ラノリン、フェノールは使用できません。



注意

- 高熱での洗浄、消毒は製品の劣化を早め、破損につながる可能性があります。
- 消毒は、バルブを開き、出来る限り低い温度、短時間で行って下さい。
- オートクレーブ滅菌は推奨できません。
- 圧がかかる際にはバルブを開けて、クッションの内圧が高くなるようにしてください。
- バルブを開けたまま消毒が必要な場合には、できる限り低い温度で行ってください。
- 空気調整タイプの製品に対して、82℃を超える消毒方法は推奨されません。

8. トラブルシューティング

空気量が減っている場合：

- 1、バルブを反時計回りの方向に開き、ポンプでクッションに空気を入れてください。
- 2、バルブを時計回りの方向にしっかり閉めます。

空気が漏れてしまう場合：

- 3、穴がないか目視で確認します。
- 4、バルブが閉まっている状態で、クッションを凹ませるか、水につけて泡が出ないか確認してください。
- 5、小さな穴であれば付属の修理キットで修復してください。

安定性が無い、座り心地悪いが場合：

- 1、クッションの空気が入りすぎていることを確認してください。
- 2、クッションの向きを確認してください。
- 3、車いすサイズに適合したクッションであることを確認してください。
- 4、初めてご使用になる場合は、1時間程度座り、素材感に慣れていただくと共に、クッションを馴染ませてください。

廃棄方法：

お住まいの自治体の規則に則り、環境に配慮し廃棄してください。

LAC

ラックヘルスケア株式会社

〒542-0081

大阪市中央区南船場 2-10-2

TEL : 06-6244-0636 FAX : 06-6244-0836